

## 春の嵐

事実を味わうこと、と  
暴風雨の隙間のない音の粒よ、生命を抱け  
和することに  
乾いた地面を潤すことに  
激しい風の圧力よ、私に事実を叫べ  
疑う余地のない事実とやらを

狂おしいものは何処にある  
無表情な時間ばかりが散らばっている  
見え透いた涙を計算する芸術とやらが  
押し付けがましく喚きたてる  
地上と空の間に横たわる隔壁が雲を拒む  
おお、狂おしいものは 何処にある

踊れ  
行儀のよい社交ダンスじゃなく  
伝統を緻密に伝える民族舞踊じゃなく  
抑圧を押しつける気遣いじみた運動じゃなく  
大気を胸に迎えるための解放の舞踊を  
踊れ

(2004.5.4)